



外務省



PI MAP

PRINCIPAL INVESTIGATORS MAP



国際頭脳循環促進オンラインイベント

～在独日本人研究者(PI)の研究報告を通じた更なる国際連携を目指して～

医学・ライフサイエンスでのイノベーション創出

会期：2026年6月23日(火) 16:00～17:10 (日本時間)

主催：外務省

田中 求 教授

ハイデルベルク大学
物理化学研究所教授
京都大学医学研究科
客員教授 併任



専門は界面科学・生命物理学。医数物融合研究を通じて日独の学術交流に貢献。

2005年からハイデルベルク大学・物理化学研究所教授として生体界面の物性や細胞・組織の動態に関する研究・教育を行っている。欧州内ではドイツ・エクセレンスクラスタなど多くの大型プロジェクトへの参画を通じて、領域の壁を超えた研究ネットワークを展開している。2013年から京都大学においても研究室を主宰し(国際併任)、日本-ドイツ間の学術交流に貢献している。2014年ジーボルト賞受賞。50名近くの学位論文を指導してきたほか、門下からは大学教授など世界7か国で活躍するリーダーを輩出しており、グローバル人材の育成実績を持つ。

坂田絵理 博士

ゲッティンゲン大学
医学部グループリーダー



専門はクライオ電子顕微鏡を用いた構造生物学。ユビキチン-プロテアソームシステムによるタンパク質分解の構造的基盤の解明に取り組む。創薬標的であるタンパク質分解酵素26Sプロテアソームの制御機構について、分子レベルでの作用機序の理解を目指した研究を行っている。さらに、アルツハイマー病やパーキンソン病などの神経変性疾患に対する新規創薬アプローチとして、プロテアソームを利用した標的タンパク質分解誘導分子の開発を進めている。特に、標的タンパク質とプロテアソームとの相互作用を誘導する分子接着型低分子化合物により、直接的な標的タンパク質分解の実現を目指す。若手女性研究者の支援活動を積極的に行っている。

プログラム

16:00 開会挨拶、講演者の先生方のご紹介 (10分)

16:10 田中ハイデルベルク大学教授の研究発表 (15分)

テーマ： 界面の動態から生命を読み解く～融合研究を社会へ

16:25 質疑応答 (10分)

16:35 坂田ゲッティンゲン大学グループリーダーの研究発表 (15分)

テーマ： プロテアソーム研究から創薬イノベーションに向けて

16:50 質疑応答 (10分)

17:00 PIマップのご紹介、閉会の言葉 (5分)

➤ お申し込み：(期限6月19日(金) 17時まで)

<https://forms.office.com/r/pUmM37wtfi>



エントリー登録はこちらから→

➤ お問い合わせ先：

外務省国際科学協力室(担当：羽鳥、近藤、徳田) kakyou@mofa.go.jp